

令和3年度

事業計画書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

公益社団法人日本装削蹄協会

令和3年度事業計画書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

本会は、馬及び牛のフットケアを推進することにより、健康で能力を十分に発揮できる馬や牛が馬スポーツ及び畜産において利活用され、もって馬スポーツを通じた国民の心身の健全な発達及び国民への畜産物の安定供給に寄与することを目的とし、関係団体の協力を得て、以下の事業を実施する。

1 フットケアの普及啓発に関する事業

「装蹄」

(1) ライダーのためのフットケアセミナー

フットケアに関する基礎知識の普及のため乗馬クラブ関係者及び乗馬愛好者を対象に、本会装蹄教育センターでセミナーを開催する。

(2) オープンキャンパス

入講希望者や一般参加者に対し、装蹄師の仕事内容や装蹄教育センターの認定講習会及び施設等を直接体験してもらうために、ホームページ等で開催告知のうえオープンキャンパスを開催する。

「牛削蹄」

(1) 牛削蹄技術普及講習会（JRA 畜産振興事業）

牛飼養農家等を対象とした牛削蹄技術普及講習会にて、蹄の構造や蹄病に関する知見および削蹄効果などの護蹄管理に関する知識について普及推進を図る。

(2) 牛削蹄師スキルアップ講習会（JRA 畜産振興事業）

全国牛削蹄競技大会の予選大会であるブロック大会開催時などの機会を活用して、削蹄技術の向上と最新知識の普及を図るための講習会を開催する。

(3) 蹄角度調査－牛蹄フィールド調査（JRA 畜産振興事業）

肉用牛において実施された削蹄後の蹄の背壁と蹄底面とで構成する蹄角度や蹄壁長等を測定調査し、データを蓄積することで既存の推奨値と比較し、生産性の向上とアニマルウェルフェアにつながる蹄における基準値を設定する。このことは肉用牛における削蹄技術の安定化に寄与する。

「共通」

(1) 機関誌「蹄」の発行

本会の事業内容や馬及び牛のフットケアに関する最新情報を発信するため、機関誌「蹄」を年4回発行し構成員や関係団体等に配布する。

(2) ホームページの運営管理

本会の事業内容や講習会の開催案内、フットケア関連知識、護蹄研究会等の各種情報についてホームページに随時掲載し、幅広く情報提供を行う。

(3) 認定制度50周年記念事業

昨年度実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症対策により1年延期した認定制度50周年記念式典を、6月21日(月)の定時総会開催日に実施する。また、50周年記念誌を発刊する。

2 認定装蹄師及び認定牛削蹄師の養成に関する事業

「認定装蹄師」

(1) 2級認定装蹄師認定講習会及び認定試験

装蹄教育センター第27期講習生を対象に認定装蹄師を養成するための講習会を4月より約1年間にわたり開催し、認定試験を実施する。

また、第28期講習生を募集し入講選考試験を実施する。

(2) 1級認定装蹄師資格者昇級研修会及び昇級試験

資格者昇級研修会及び昇級試験を8月に実施する。

(3) 指導級認定装蹄師資格者昇級研修会及び昇級試験

資格者昇給研修会及び昇級試験を令和4年1月に実施する。

(4) 特定外国装蹄師認定のための検定試験

外国で装蹄師の資格を取得している者の検定試験を令和4年3月に装蹄教育センターにおいて実施する。

(5) 認定試験委員会

認定装蹄師の認定試験及び昇級試験の問題作成と試験の合否判定のための委員会を開催する。

「認定牛削蹄師」

(1) 2級認定牛削蹄師認定講習会及び認定試験

認定牛削蹄師を養成するため、実技と学科で構成する講習会と認定試験を、全国6か所で開催する。なお、講習会の日時・場所等については、ホームページにおいて随時広報する。

- (2) 1級認定牛削蹄師資格者昇級研修会及び昇級試験
資格者昇級研修会及び昇級試験を実施する。なお、開催要項等についてはホームページにおいて随時広報する。
- (3) 指導級認定牛削蹄師資格者昇級研修会及び昇級試験
資格者昇級研修会及び昇級試験を実施する。なお、開催要項等についてはホームページにおいて随時広報する。
- (4) 認定試験委員会
認定牛削蹄師の認定試験及び昇級試験の問題作成と試験の合否判定のための委員会を開催する。

3 資格認定に関する事業

本会の認定資格を有し、認定申請書の提出のあった者について、認定資格審査会規程に基づき、認定資格審査会に諮問のうえ資格認定が適当であると認められた者に認定証を交付する。

また、5年毎に有効期間が満了する認定装蹄師及び認定牛削蹄師を対象として認定期間更新の申請があった者に認定証を交付する。

4 認定装蹄師及び認定牛削蹄師の技術の向上に関する事業

「認定装蹄師」

- (1) 馬装蹄技術向上研究会（NAR 畜産振興補助事業）
地方競馬の装蹄師及び競馬関係者を対象に、装蹄の技術指導と装蹄療法の最新技術等の普及を行うための講習会を地方競馬場において開催する。
- (2) 第73回全国装蹄競技大会（農林水産祭参加）
認定装蹄師の装蹄技術の向上を図り、馬の能力増進に資することを目的として、全国装蹄競技大会を10月18日（月）・19日（火）に、装蹄教育センターにおいて開催する。
- (3) 外国人装蹄師招聘事業（日本中央競馬会弘済会助成事業）
海外の最新装蹄技術の普及を図るため、海外から優秀な装蹄師を招聘し、造鉄等の実演や実技指導を行う。
- (4) 国際装蹄技術交流事業（NAR 畜産振興補助事業）
我が国の装蹄技術の向上を図るため、令和元年度の全国装蹄競技大会優勝者等2名を令和3年11月に米国で開催される装蹄競技大会に選手として派遣する。併せて、令和3年度全国装蹄競技大会優勝者2名を令和

4年3月に米国で開催される装蹄競技大会に選手として派遣する。また、帰国後は派遣者装蹄師による報告研修会を実施する

なお、同大会に併せて米国の装蹄事情を調査するため、本会役職員を派遣する。

(5) 装蹄競技会及び研修会等への協力

正会員（地方会）や関係業界等が主催する装蹄競技会の審査員や研修会等の講師として、本会役職員を派遣し、馬のフットケアの技術向上及び知識の普及を図る。

(6) 技術検討委員会（装蹄部会）

認定装蹄師の技術向上に資するため、全国装蹄競技大会に関する具体的な競技内容等を検討する委員会を開催する。

「認定牛削蹄師」

(1) 第62回全国牛削蹄競技大会（農林水産祭参加）

認定牛削蹄師の技術の向上を図るため、全国牛削蹄競技大会を11月に、(有)瑞穂農場鯉淵分場および(公財)農民教育協会鯉淵学園農業栄養専門学校で開催する。

(2) 牛削蹄競技会及び研修会等への協力

正会員（地方会）や関係業界等が主催する牛削蹄競技会の審査員や研修会等の講師として、本会役職員を随時派遣し、牛のフットケアの技術向上と知識の普及を図る。

(3) 技術検討委員会（牛削蹄部会）

認定牛削蹄師の技術向上に資するため、全国牛削蹄競技大会に関する具体的な競技内容等を検討する委員会を開催する。

(4) 「新・牛の削蹄（仮称）」発刊事業（日本中央競馬会弘済会助成事業）

牛削蹄師の養成の基盤強化及び認定牛削蹄師のテキストとして海外の先進技術や知識を盛り込んだ「新・牛の削蹄」を令和4年度に発刊するために編集会議及び技術調査を実施する。